

日本の伝統文化「和太鼓」の継承

防府市立国府中学校

はじめに

本校は、昭和29年4月1日に防府市立国府中学校として開校し、今年で創立65年目を迎えています。

校名の由来は、大化の改新以降、この地に周防国を治めるための役所である国府が置かれたことに関連して命名されました。

生徒数は、現在484名、学級数は特別支援学級の2学級を含めて17学級です。
(平成31年2月)

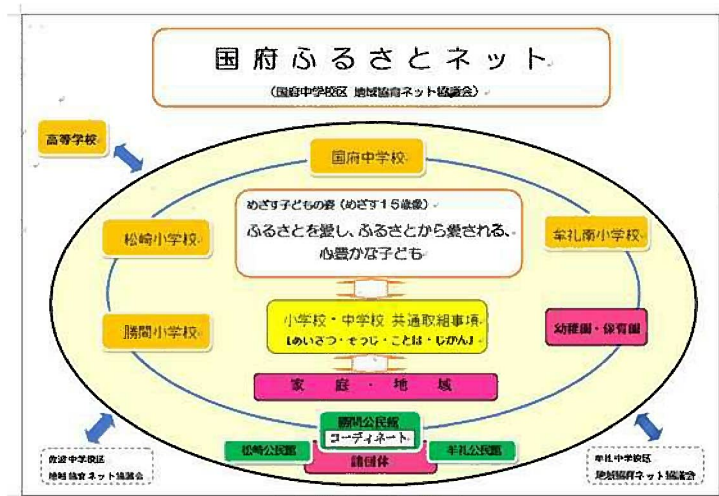


- 校訓 「誠実」・・・礼儀正しく、真心ををもって行動する
「敬愛」・・・思いやりがあり、社会や人のために尽くす
「勤勉」・・・自ら学ぶ心をもって、最後まで努力する

- 平成30年度学校教育目標 「変革と多様を生きる人間力の育成」
～挑戦する心と共に生きる力の育成～

地域協育ネット

本校は、コミュニティ・スクールとしての取組を開始して7年目になります。そして、今日では、コミュニティ・スクールの横の連携強化という視点から、中学校区を一まとまりとした教育システムの変換を図っています。いわゆる、小学校から中学校までの9年間を見通した教育の中で、「めざす15歳像」を共有し、子どもたちの育ちや学びを地域ぐるみで見守り、支援する仕組みとして「地域協育ネット」の構築です。



国府中学校区では、地域協育ネットの名称を「国府ふるさとネット」とし、「めざす15歳像」には、「ふるさとを愛し、ふるさとから愛される、心豊かな子ども」の育成を掲げています。

そして、小・中学校、公民館、地域団体や関係機関が連携し、「地域に開かれた、地域とともにある学校づくり」に取り組んでいます。その中で、本校は、平成26年から日本の伝統文化である、和太鼓演奏を生徒自らの手で地域に披露することにより、ふるさとを愛する生徒の育成と地域の活性化に取り組んでいます。

活動の概要

和太鼓演奏は、本校出身で校区内在住の末長 愛さんのご指導により進めています。ご指導をしていただく末長さんは、和太鼓奏者に憧れ、高校卒業と同時に和太鼓演奏の道に進まれました。

末長さんの演奏は、太鼓を打つだけでなく、笛を吹き、踊り、舞うなどのしなやかさと力強さの両面をもち合わせています。

近年は、防府に拠点を置き、自身のライブ活動を東京・島根・山口などで展開されています。



今年度は、1～3学年生徒の男女15名からの編成チームによる文化祭での演奏となりました。

和太鼓演奏に取り組む生徒の中には、地域に根付いた地元の和太鼓チーム「春日鬼太鼓」や「勝間浦人太鼓」に所属している生徒もおり、練習の時には、みんなに声をかけたり、大きな声で気合いを入れたり、リーダー性を発揮しています。特に、初めて和太鼓に触れる仲間に対しては、太鼓のリズムを伝え、チームとしての意識を高めています。

10月28日(日)文化祭 「響 ～remember memories～」

文化祭のオープニングでは、末長さんの指揮の下、生徒と教員2名で和太鼓演奏を披露しました。文化祭での披露は、今年度で5回目を迎え、国府中文化祭のオープニングに定着し、保護者や地域の方々に大変好評を得ています。また、近年では、和太鼓演奏を楽しみに来校される方も少なくありません。



これまでには、地域ふれあい祭りへの出演要請を受けた年もあり、多くの地域の方々の前で和太鼓を披露し、観客を魅了してきました。

また、本校では、和太鼓という伝統文化に興味・関心を抱く生徒も多く、この取組は継続する予定です。

今後も、地域を活性化する活動とし、和太鼓演奏を披露していきます。